

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	280		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境政策課
事務事業名	01058 環境保全市民運動推進事業	所 属 長	山本 哲
		記 入 者	山形 基之

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市環境基本条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		天津市環境基本計画
	政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします		
	施策	01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全		
	視点	01	水環境の保全・再生		
重事	01	環境保全活動の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	環境保全市民運動推進費	
事業の概要	市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。「琵琶湖を美しくする運動実践本部」による琵琶湖市民清掃の実施を支援し、回収されたごみの処理を行うとともに、補助金を交付し事務局を担当している。河川愛護団体に対する河川清掃用具・花苗等の配布や情報提供等その他、河川愛護団体連合会の活動支援を行う。地域のヨシ保全事業を補助金交付や活動等で支援する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（団体支援、活動支援）				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
対象 (何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
手段 (どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃や川辺の花づくり等の河川愛護活動及びヨシ保全活動を促進し支援することで
成果 (どのような状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		23,311	29,422	27,818	30,368	14,877	
人件費 B		8,550	11,263	11,395	10,785	10,785	
事業費合計 A+B		31,861	40,685	39,213	41,153	25,662	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	14,959	5,336	5,388	5,643	5,643	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	325	241	205	200	200	
一般財源		16,577	35,108	33,620	35,310	19,819	
職員数(人)		1.35	1.45	1.45	1.52	1.52	
職員数の内訳	正規	0.95	1.35	1.35	1.17	1.17	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.40	0.10	0.10	0.35	0.35	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	活動指標	琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	目標	120	120	120	120	120
				実績	117	118	118	-	-
2	活動指標	河川清掃実施回数	回	目標	200	200	200	200	200
				実績	556	1,001	547	-	-
1	成果指標	琵琶湖市民清掃参加人数	人	目標	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
				実績	66,089	64,056	62,242	-	-
		河川清掃等参加者数	人	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
				実績	18,474	18,051	19,651	-	-
		各河川愛護団体が実施した清掃活動等に参加した人数							



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	281	
部 局 名	環境部	所 属 名 環境政策課
事務事業名	03335 公害監視調査事業	所 属 長 山本 哲
		記 入 者 新田 紳一郎

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	水質汚濁防止法・大気汚染防止法・悪臭防止法・騒音規制法 他	
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします			
	施策	01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	関連する個別計画		環境基本計画・公共用水域水質測定計画・地下水水質測定計画
	視点	03	環境監視及び規制			
重事	01	環境監視の強化・充実				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	公害監視調査事業費	

事業の概要  
 公害関係法令等に基づき、水質汚濁、大気汚染、騒音振動などの公害の発生源となる事業場に対し規制・指導を行う。また、生活環境の保全及び増進を図るため、河川水質や大気環境などの監視・調査を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	水環境、大気環境など快適な生活環境を保全するため
対象 (何又は誰を)	工場・事業場、道路・鉄道などの発生源や公共用水域、大気環境などに対し
手段 (どのようなやり方で)	公害関係法令等に基づく立入検査、指導などを行うとともに、水質や汚染の状況の監視・調査を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	水質汚濁の防止、大気汚染の防止などが図られ、快適な生活環境が保全される

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		54,424	51,620	49,022	47,535	50,995	
人件費 B		51,906	49,036	48,970	40,670	40,670	
事業費合計 A+B		106,330	100,656	97,992	88,205	91,665	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	7,937	9,969	10,131	8,954	8,622	大気環境監視施設基金
	一般財源	98,393	90,687	87,861	79,251	83,043	
職員数 (人)		6.33	5.98	5.90	4.90	4.90	
職員数の内訳	正規	6.33	5.98	5.90	4.90	4.90	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	事業場排水検査数	件	目標	70	70	59	62	48
				実績	71	56	64	-	-
	公害関係法令等に基づく排水検査のべ件数								
	2	事業場立入件数 (大気、悪臭)	件	目標	30	30	30	30	30
実績				33	29	27	-	-	
公害関係法令等に基づく立入りのべ件数									
成果指標	1	河川における環境 (上の) 基準の達成状況 (BOD)	河川数	目標	24	24	24	24	24
				実績	24	24	24	-	-
	環境 (上の) 基準達成河川数								
	2	大気常時監視における環境基準の適合率	%	目標	100	100	100	100	100
実績				72	82	82	-	-	
環境基準適合のべ項目数 ÷ 環境基準測定のべ項目数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市内を流れる河川や地下水が琵琶湖に流入するため市民の水環境への関心は非常に高い。また、微小粒子状物質（PM2.5）の健康被害についても関心が高くなってきている。		
これまでの見直しや改善等の経過	事業場に対する指導の効果がみられないまたは公害関係法令に基づいた指導が難しい事業場については、他部局と連携を図りながら改善に向け指導を行った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	事業場に対する規制・指導並びに環境の監視・調査は、公害関係法令等を所管する市が実施すべき事業である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業場の規制・指導にあたっては、抜打ちによる立入検査を実施しているため、より実行性のある指導ができています。また、環境の監視・調査の結果を情報発信することで、市民の環境への関心に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	事業場の規制・指導にあたっては、過去の指導結果などに基づき事前に立入計画を策定している。また、環境の監視・調査については、一部を民間委託とすることで事業費に対して高い効果を得ている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	事業場に対し規制・指導を実施することで、公害防止が図られていることから、良好な生活環境の保全に貢献している。また、環境の監視・調査の結果はホームページなどで広く情報発信することで、市民の環境へのより深い理解に生かされている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	公害関係法令等に基づいた事業場に対する規制・指導並びに環境の監視・調査を実施することで、良好な生活環境の保全に努める。なお、事業場に対する指導の効果がみられないまたは公害関係法令等に基づいた指導が難しい事業場については、他部局と連携を図りながら改善に向け指導を行う。
部局長コメント	市民の生活環境の保全と、安心、安全の確保に不可欠な事業であり、他部局との連携を図りながら今後も継続して進めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	72.00 %	82.00 %	82.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	+13.88 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	1,497 千円	1,797 千円	1,531 千円
	指標2	3,222 千円	3,470 千円	3,629 千円
成果単位コスト	指標1	4,430 千円	4,194 千円	4,083 千円
	指標2	1,476 千円	1,227 千円	1,195 千円
コスト増減率		- %	-11.10 %	-2.64 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	282	
部 局 名	環境部	所 属 名 環境政策課
事務事業名	01111 路上喫煙等防止事業	所 属 長 山本 哲
		記 入 者 山形 基之

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	路上喫煙等の防止に関する条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします	関連する個別計画	大津市環境基本計画
	施策	01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	路上喫煙等防止事業費	平成21年度 ~

事業の概要  
 条例に基づき、市内全域で屋外の公共の場所では喫煙しないように啓発するとともに、特に人通りの多いところでは禁止区域を設定し路上喫煙等をしないように広報宣伝車による啓発指導、巡回指導を行ってきた。  
 また、イベント等での啓発活動により路上喫煙防止の協力を依頼している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民等の身体及び財産への被害防止、健康への影響の抑制とたばこの吸殻の投棄防止を図り、安心かつ安全で健康な生活の確保、まちの美観の保全のために
対象 (何又は誰を)	屋外の公共の場所での路上喫煙等の行為を
手段 (どのようなやり方で)	広報宣伝車による啓発指導やポスター、路上シール等の貼りだしによる広報活動、啓発物品の配付等
成果 (どのような状態にするのか)	路上喫煙等の行為が減少し、喫煙者而非喫煙者との共存、喫煙マナーの定着したまちづくりを目指す

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	3,761	1,560	827	335	460	H28灰皿2増、H30灰皿全廃
人件費	B	3,850	4,280	2,075	1,245	1,245	嘱託H27:1人、H28:2人
事業費合計 A+B		7,611	5,840	2,902	1,580	1,705	嘱託H29~:1人、R元~0人
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,611	5,840	2,902	1,580	1,705	
職員数(人)		1.10	1.15	0.25	0.15	0.15	
職員数の内訳	正規	0.10	0.15	0.25	0.15	0.15	
	嘱託	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	路上喫煙等防止巡回啓発活動日数	日	目標	130	130	0	0	0
				実績	189	207	0	-	-
	路上喫煙等防止巡回啓発活動の延べ日数								
	2	路上喫煙防止啓発回数	回	目標	0	0	10	10	10
実績				0	0	4	-	-	
広報啓発車による啓発活動、ホームページへの掲載、イベントPR等での啓発									
成果指標	1	路上喫煙減少率	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	92	96	96	-	-
	路上喫煙等禁止区域での条例施行前対比の路上喫煙減少率								
	2	たばこの吸殻回収減少率	%	目標	70	70	70	70	70
実績				72	78	74	-	-	
路上喫煙等禁止区域での条例施行前対比のたばこの吸殻回収減少率									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	健康増進法の一部を改正する法律の施行に伴い、受動喫煙による健康被害に対する関心が高まっており、行政・事業所においてもその対策が急がれている。	
これまでの見直しや改善等の経過	巡回指導方法を見直すとともに、望まない受動喫煙による健康被害を減らすため、影響の大きいと思われるマネースポットから順次撤去、平成30年度に完全撤去した。広報宣伝車による巡回も行った。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	啓発活動を行うことにより、路上喫煙等禁止区域では、条例制定前と比較し、喫煙率及び吸がらのポイ捨ての数が減少した。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	これまで路上喫煙等禁止区域において、啓発を行ってきたこともあり、近年、路上での喫煙者は減っている。
効率性 (事業手法は効果的であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	路上喫煙等禁止区域の街頭啓発活動により、区域内での喫煙者は減少している。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	路上喫煙等禁止区域の街頭啓発活動により、禁止区域内の喫煙の防止に寄与した。
---------	--	---------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他      ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	健康増進法の一部を改正する法律が施行されたことから、今後はより一層、所管部局との連携のもと、周知・啓発に努める。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	115.00 %	120.00 %	120.00 %
	指標2	102.85 %	111.42 %	105.71 %
成果増減率	指標1	- %	+4.34 %	±0.00 %
	指標2	- %	+8.33 %	-5.12 %
活動単位コスト	指標1	40 千円	28 千円	0 千円
	指標2	0 千円	0 千円	725 千円
成果単位コスト	指標1	82 千円	60 千円	30 千円
	指標2	105 千円	74 千円	39 千円
コスト増減率	- %	-27.81 %	-48.96 %	



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	283		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境政策課
事務事業名	01190 環境人育成事業	所 属 長	山本 哲
		記 入 者	山形 基之

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	環境基本法、環境教育等促進法  大津市環境基本計画 大津環境人を育む行動計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします		
	施策	02	環境教育の推進		
	視点	01	「環境人」育成の推進		
	重事	01	環境人の育成	関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	環境人育成事業費	
事業の概要	環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。 ・「自然家族」事業 ・「大津こども環境探偵団」事業 ・「指導者研修」事業				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（実行委員会の協力）				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として
対象 (何又は誰を)	自然家族事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学3年生～中学3年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に
手段 (どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（自然家族事業）、環境学習活動（大津こども環境探偵団事業）、及び研修支援（指導者研修事業）により
成果 (どのような状態にするのか)	「環境人」が増えた状態をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有して積極的に環境行動を実践する人

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,372	1,312	954	0	0	
人件費 B		20,280	12,517	10,974	0	0	
事業費合計 A+B		22,652	13,829	11,928	0	0	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	2,147	1,000	920	0	0	琵琶湖総合保全交付金
	一般財源	20,505	12,829	11,008	0	0	
職員数(人)		2.55	2.10	1.70	0.00	0.00	
職員数の内訳	正規	2.45	1.35	1.21	0.00	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.75	0.49	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	自然家族事業開催回数	回	目標	11	4	4	4	4
				実績	10	4	8	-	-
	各年度の自然家族事業事業の開催回数、活動実績数								
2	大津こども環境探偵団環境学習回数	回数	目標	6	6	6	6	6	
			実績	6	3	4	-	-	
	各年度の大津こども環境探偵団環境学習事業の回数、活動実績数								
成果指標	1	自然家族事業参加者数	人	目標	650	400	400	400	400
				実績	460	229	412	-	-
	各年度における自然家族事業の参加者数								
2	大津こども環境探偵団卒団生数	人	目標	1,840	1,930	1,990	2,050	2,110	
			実績	1,877	1,930	1,974	-	-	
各年度末の大津こども環境探偵団卒団生数（第1期からの総数）									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	自然体験活動を望む声が多くなっており、本市の豊かな自然を生かした自然体験型環境学習により環境人を育むための機会の提供が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	「大津環境人を育む行動計画」の策定（平成29年度）を契機に、参加者の数によって実施回数を調整するなど事業内容の見直しを行った。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	環境教育等促進法において地方公共団体の責務として、その地方公共団体の区域の自然的条件に応じた施策の策定及び実施に努めるよう定められていることから、環境人育成事業を実施することは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	ほとんどの参加者が、自然体験活動を通じて自然の面白さ、不思議さ、大切さ、生き物の命の尊さを実感して、今後も自然体験活動を続けていきたいと考えているという結果が出ている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	家族、子ども、指導者といった対象者を明確にし、テーマを絞った内容とすることで、効率的に事業を実施している。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本市の豊かな自然を利用することにより、身近な場所で自然体験型の環境学習プログラムを数多く行っており、各参加者が環境を意識した活動に関心を持つようになった。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>参加者数などの動向を見ながら事業の見直しを行い、事務の効率化を図ってきた。今後については、受託者の事業結果報告や提案を受けてフィードバックさせることにより、参加者のニーズを的確に把握して事業を進めていく。</p> <p>今後も引き続き事業結果の分析や参加者の意向の把握に努め、事業の精査を行い、円滑に進めていく。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	141.30 %	174.67 %	97.08 %
	指標2	102.01 %	100.00 %	99.19 %
成果増減率	指標1	- %	+50.21 %	-79.91 %
	指標2	- %	+2.82 %	+2.27 %
活動単位コスト	指標1	2,265 千円	3,457 千円	1,491 千円
	指標2	3,775 千円	4,609 千円	2,982 千円
成果単位コスト	指標1	49 千円	60 千円	28 千円
	指標2	12 千円	7 千円	6 千円
コスト増減率		- %	-31.62 %	+18.19 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	284	
部局名	環境部	所属名 環境政策課
事務事業名	01150 環境企画推進事業	所属長 山本 哲
		記入者 金田一 正太

## <1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	01	再生可能エネルギーの活用		
	視点	01	再生可能エネルギーを活用したまちづくり		
	重事	01	再生可能エネルギーの利用促進	関連する個別計画	大津市環境基本計画、大津市地球環境保全地域行動計画

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	環境企画推進事業費	

事業の概要  
 「大津市環境基本計画」及び「大津市地球環境保全地域行動計画～アジェンダ21おおつ～」に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取り組みを進める。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## <2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	「環境基本計画」及び「アジェンダ21おおつ」に示される取り組みを推進するため
対象 (何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
手段 (どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取り組みの支援を行い
成果 (どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取り組みを着実に推進する。

## <3. 経費> DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考	
直接経費 A	8,594	8,493	9,271	8,161	17,258	H29～他2事業を本事業に統合	
人件費 B	14,868	14,239	15,278	19,588	19,588	H29～他2事業を本事業に統合	
事業費合計 A+B	23,462	22,732	24,549	27,749	36,846		
事業費の内訳	国	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0		
	起債	0	0	0	0		
	その他	5,677	294	1,320	1,444	1,444	売電寄附金+まちづくり基金繰入
	一般財源	17,785	22,438	23,229	26,305	35,402	
職員数(人)	1.89	1.79	1.91	2.36	2.36		
職員数の内訳	正規	1.79	1.72	1.91	2.36	2.36	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.07	0.00	0.00	0.00	

## <4. 指標> DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1 省エネルギー等啓発回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	18	22	22	-	-
	2 広報誌等による市民向けの省エネルギー啓発回数		目標					
			実績					
成果指標	1 住宅用太陽光発電システム総能力	KW	目標	38,000	46,000	57,000	69,000	84,000
			実績	33,045	35,459	38,387	-	-
	住宅用太陽光発電システムの設置能力(累計)							
	2 エコライフデーの参加世帯数	世帯	目標	13,600	15,700	17,800	20,000	20,000
実績			8,280	9,198	10,778	-	-	
エコライフデーの参加世帯数(H21～の累計)								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	国は低炭素社会の構築に向け、関係法令の整備や制度設計を進めている。昨今の猛暑や大雨による気象災害等により、市民の地球温暖化に対する関心、意識は高まっている。		
これまでの見直しや改善等の経過	「アジェンダ21おおつ」をさらに推進していくため、NPO法人おおつ環境フォーラムを天津市地球温暖化防止活動推進センターに指定し、地球温暖化対策に関する業務を委託した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本事業は、地球温暖化防止対策の推進に関する法律において地方公共団体の責務とされる「区域の温室効果ガス排出抑制等のための措置」及び「市自らの事務及び事業に係る温室効果ガスの排出削減等」に関するものである。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	成果指標の目標は達成していないが、各種講演や体験学習等の事業を幅広く展開していること、また、太陽光発電システムの設置も年々増加していることから、市民の地球温暖化防止に関する啓発効果は上がっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	事業の大半を天津市地球温暖化防止活動推進センターに委託しており、事業費に比べ高い効果を得ている。また「環境オームス」は、市独自の環境マネジメントシステムであり、維持経費がかからないため効果的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地球温暖化対策の取り組みについては、市民の関心を高め、意識を変えていく啓発活動が最も重要であり、本事業はこれに貢献するものである。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	「天津市環境基本計画」や「アジェンダ21おおつ」に基づき、事業を継続するとともに、令和2年度から3年度にかけて、両計画の次期計画を策定する。策定にあたっては、これまでの取り組みの評価を踏まえつつ、特に世界的に大きな問題となっている地球温暖化対策を推進できる計画とする。
部局長コメント	地球温暖化対策の取り組みは、市民の関心を高め、行動を促すことが最も重要なことであり、引き続き天津市地球温暖化防止活動推進センターと連携のうえ、普及・啓発事業を中心に実施していく。また市の事務、事業の実施にあたっては、省エネルギーの推進やごみの減量等について全庁一体となって継続して取り組んでいく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	86.96 %	77.08 %	67.34 %
	指標2	60.88 %	58.58 %	60.55 %
成果増減率	指標1	- %	+7.30 %	+8.25 %
	指標2	- %	+11.08 %	+17.17 %
活動単位コスト	指標1	1,303 千円	1,033 千円	1,115 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	2 千円	2 千円	2 千円
コスト増減率		- %	-11.24 %	-4.03 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	285	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01153 3R推進事業	所 属 長
		記 入 者
		米田 博明
		神山 友宏

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	01	ごみの減量と再資源化		
重事	01	ごみの減量と再資源化の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	3R推進事業費	
事業の概要	市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸における体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3Rを推進する循環型社会への転換を図るため
対象 (何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして
手段 (どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより
成果 (どのような状態にするのか)	市内における3R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		189,794	156,848	140,956	126,533	183,625	
人件費 B		46,221	42,162	47,966	49,436	51,926	
事業費合計 A+B		236,015	199,010	188,922	175,969	235,551	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	517	154	203	415	415	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	29,287	34,604	33,136	27,730	30,471	
	一般財源	206,211	164,252	155,583	147,824	204,665	
職員数(人)		8.34	8.45	9.12	8.65	8.95	
職員数の内訳	正規	5.15	4.20	4.87	4.70	5.00	
	嘱託	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時	2.19	3.25	3.25	3.95	3.95	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	集団資源回収団体数	団体	目標	660	660	660	660	660
				実績	664	666	659	-	-
	当該年度後期（7月～12月）実施団体数								
2	リサイクルフェア来場者数（延べ人数）	人	目標	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
			実績	2,119	1,893	1,311	-	-	
	人口34万人×2%が5回に1回参加見込み								
成果指標	1	ごみ排出量（可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ）	t	目標	86,428	85,975	85,528	85,067	85,067
				実績	89,103	87,055	88,254	-	-
	ごみ減量実施プラン目標値（～H27）、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画目標値（28～）								
2	資源化率	%	目標	18.8	19.2	19.6	20	20	
			実績	15.8	16	15.7	-	-	
ごみ処理基本計画目標値（直接資源化量+中間処理後再利用量+集団回収量）/総ごみ量+集団回収									

< 5. 評価 > CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年9月に策定したごみ減量実施プランに基づく施策の実施により大幅なごみ減量を達成。平成31年度は「冷蔵庫の点検運動」を新たに展開した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	ごみ減量及び資源化の推進について、各種施策を展開していくのは自治体の責務であり、市民会議であるごみ減量と資源再利用推進会議などと協働して進めている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	令和2年1月までのごみ量は前年度並みであったが、令和2年2月以降新型コロナウイルス感染症拡大防止対策関連でごみ量が増加しており、より一層の周知、啓発活動が必要である。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民会議であるごみ減量と資源再利用推進会議と協働して周知、啓発活動を実施しているほか、地域における集団資源回収など効率的な支援を実施している。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	施策実施には、市民・事業者等との協働が不可欠であり、「ごみ減量と資源再利用推進会議」等と事業推進に取り組んでいる。
---------	--	---

< 6. 今後の方向性 > ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	次期一般廃棄物処理基本計画の策定にあたり、人口推計や社会状況の変化を見極めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大を予防する新しい生活様式の実践など時代に即した再資源化、適正処理を図るため、高効率発電機能を有する新ごみ焼却施設稼働後の分別収集区分や処理方法について検討を進めていく。
部局長コメント	食品ロスの削減やレジ袋の有料化など、社会情勢に応じた法律施行等が行われ、この機を逃すことなく、更にごみ減量と資源再利用推進会議等と協働した周知、啓発活動を展開していく。次期一般廃棄物処理基本計画の策定は、財政面や環境面等を考慮した分別収集区分等について、審議会などから様々な意見を賜り、効率的な処理方法を検討していく。

< 7. 評価分析 > ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1 96.99 %	98.75 %	96.91 %
	指標2 84.04 %	83.33 %	80.10 %
成果増減率	指標1 - %	+2.29 %	-1.37 %
	指標2 - %	+1.26 %	-1.87 %
活動単位コスト	指標1 355 千円	298 千円	286 千円
	指標2 111 千円	105 千円	144 千円
成果単位コスト	指標1 2 千円	2 千円	2 千円
	指標2 14,937 千円	12,438 千円	12,033 千円
コスト増減率	- %	+7.60 %	+4.43 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	286	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01154 廃棄物適正処理事業	所 属 長
		記 入 者

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃掃法、廃棄物処理・再利用・美化条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	01	ごみの減量と再資源化		
重事	01	ごみの減量と再資源化の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	廃棄物適正処理事業費	
事業の概要	家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と、不法投棄された特定家電、廃タイヤ等の適正処理困難物の処理及び市内の一般廃棄物処理業許可業者に対する適正排出の指導。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	家庭ごみの確実な収集と不法投棄された廃タイヤ等の適正処理により生活環境を保全することや事業系ごみの適正な排出のために
対象 (何又は誰を)	ごみステーションに排出された家庭ごみや不法投棄された家庭ごみ及び事業系ごみを
手段 (どのようなやり方で)	民間業者への委託や直営により適正に収集運搬及び処理し、不法投棄物については、排出者及び収集運搬許可業者等への指導等により、
成果 (どのような状態にするのか)	効率的で確実な収集体制の確保と家庭ごみ及び事業系ごみが不法投棄されず適正に排出される。

## < 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考	
直接経費 A	1,257,469	1,245,616	1,307,523	1,214,317	1,215,000		
人件費 B	46,953	55,084	49,680	49,776	49,776		
事業費合計 A+B	1,304,422	1,300,700	1,357,203	1,264,093	1,264,776		
事業費の財源内訳	国	13,295	0	0	0		
	県	0	0	0	0		
	起債	0	0	0	0		
	その他	107,275	113,896	116,671	115,852	116,000	ごみ処理手数料券、缶紙等売却代
	一般財源	1,183,852	1,186,804	1,240,532	1,148,241	1,148,776	
職員数(人)	6.52	7.57	6.85	6.73	6.73		
職員数の内訳	正規	5.60	6.57	5.85	5.85	5.85	
	嘱託	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	臨時	0.42	0.50	0.50	0.88	0.88	

## < 4. 指標 > DO

活動指標	指標名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	定期収集日数	日	目標	310	310	310	310	310
			実績	310	308	310	-	-
2	展開調査	回	目標	15	15	15	3	3
			実績	15	15	15	-	-
処理施設での事業系ごみ収集車両に対する展開調査（美化センター、北部クリーンセンター）R2から直営で実施								
1	取り漏れ等の苦情件数	件数	目標	90	90	90	90	90
			実績	56	86	79	-	-
実績値は収集係による回収件数								
2	事業系ごみ量	t	目標	25,634	25,483	25,333	25,180	25,030
			実績	24,977	23,174	23,627	-	-
H27～ごみ処理基本計画の見直しに伴う目標値								



<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	事業系及び家庭ごみ量としては昨年度に比べ微増であるが、目標値以内である。また、ごみの減量と再資源化の推進が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	ごみの収集分別の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物処理法は、家庭ごみ等の一般廃棄物の処理が市町村の責務であることを規定している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	効率的で確実な収集運搬体制が確保されるとともに、適正処理困難物が適正に処理され、市民の生活環境の保全が図られている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	法が規定する処理及び委託に関する基準に則した処理及び委託を行っており、適正かつ効率的に収集運搬処分ができています。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物処理計画に基づき分別して収集するものとされる家庭ごみの適正な収集運搬や事業系廃棄物の収集運搬業者及び排出事業者への指導等の実施により施策に寄与している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	引き続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、適正処理困難物の処理の継続を含め、法に規定する処理及び委託に関する基準に則した処理及び委託を実施するとともに、事業系一般廃棄物の適正処理の観点から、排出事業者及び収集運搬業者に対する指導を実施する。
部局長コメント	ごみの減量及び再資源化の推進並びに生活環境の保全のため、家庭ごみの効率的かつ確実な収集運搬体制を確保するとともに、事業系ごみの適正処理及び減量の推進に努める。なお、不法投棄された廃タイヤなどの適正処理困難物は、民間業者に委託し、適正に処理を行う。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	160.71 %	104.65 %	113.92 %
	指標2	102.63 %	109.96 %	107.22 %
成果増減率	指標1	- %	-53.57 %	+8.13 %
	指標2	- %	+7.21 %	-1.95 %
活動単位コスト	指標1	4,207 千円	4,223 千円	4,378 千円
	指標2	86,961 千円	86,713 千円	90,480 千円
成果単位コスト	指標1	23,293 千円	15,124 千円	17,179 千円
	指標2	52 千円	56 千円	57 千円
コスト増減率		- %	+13.79 %	-7.96 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	287	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01023 し尿処理事業推進事業	所 属 長
		記 入 者

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市生活排水対策推進計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	し尿処理事業推進費	

事業の概要  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。また、16箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 (許可)

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	生活排水に係る清潔を確保することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
対象 (何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
手段 (どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して
成果 (どのような状態にするのか)	し尿・浄化槽汚泥の適正な処理を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		47,263	48,151	43,247	45,568	117,117	
人件費 B		9,804	9,820	17,396	17,089	17,089	
事業費合計 A+B		57,067	57,971	60,643	62,657	134,206	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	25,178	23,225	22,145	23,111	70,657	し尿汲み取り手数料
	一般財源	31,889	34,746	38,498	39,546	63,549	
職員数(人)		1.70	1.70	2.60	2.50	2.50	
職員数の内訳	正規	0.90	0.90	1.80	1.80	1.80	
	嘱託	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.70	0.70	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	し尿汲み取り・浄化槽人口	人	目標	13,297	12,205	11,710	11,352	10,953
				実績	12,710	12,066	11,642	-	-
	(し尿汲み取り・浄化槽人口)								
	2	公衆便所年間清掃回数	年間回数	目標	10,741	10,089	8,574	8,551	8,551
実績				10,741	10,576	8,574	-	-	
(公衆便所年間清掃回数)									
成果指標	1	し尿・浄化槽汚泥処理量	kl/日	目標	39.3	36.19	32.53	30.55	29.66
				実績	37.7	34.6	33.6	-	-
	(し尿・浄化槽汚泥処理量)								
	2	公衆便所利用回数	回/日	目標	5,990	5,823	4,962	4,678	4,678
実績				5,448	5,027	4,665	-	-	
(公衆便所利用回数)									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	し尿・浄化槽汚泥は下水道の普及に伴い減少している。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成29年度に葛川地域の収集方法を毎月収集の定期収集とし、市民サービスの向上に努めた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であることから収集業者と連携しながら適正処理に努めている。また、公衆便所の衛生的な管理に努めている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	し尿・浄化槽汚泥の適正処理に努め、生活環境の保全を確保している。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	専門的な業者が対応することにより、業務が効率的に実施されている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であり、適正処理に努めてきており、公衆衛生の向上に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止 収集運搬委託及び許可のあり方を検討し、収集運搬効率を鑑み、より効率的な収集運搬を検討していく。
部局長コメント	効率的な収集運搬の運用を検討し、一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の適正処理により、生活環境の保全に努めて行く。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	104.24 %	104.59 %	96.81 %
	指標2	90.95 %	86.33 %	94.01 %
成果増減率	指標1	- %	+8.22 %	+2.89 %
	指標2	- %	-7.72 %	-7.20 %
活動単位コスト	指標1	4 千円	4 千円	5 千円
	指標2	5 千円	5 千円	7 千円
成果単位コスト	指標1	1,513 千円	1,675 千円	1,804 千円
	指標2	10 千円	11 千円	12 千円
コスト増減率		- %	-0.29 %	+2.50 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	288	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01052 し尿処理施設等整備事業	所 属 長
		記 入 者
		米田 博明
		福嶋 真

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	滋賀県生活排水対策の推進に関する条例他
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			
				関連する個別計画	大津市生活排水対策推進計画

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	し尿処理施設等整備事業費	

**事業の概要**  
 下水道計画区域外の地域（葛川学区等）及び下水道の整備が当分の間（7年以上）見込まれない下水道事業等計画区域内の地域（以下、浄化槽補助対象地域とする。）における浄化槽の設置促進を図るため、設置費補助金の交付及び維持管理補助金の交付により浄化槽の適正管理に努め、浄化槽の維持管理の啓発活動を通して、公共用水域の水質汚濁防止へとつなげている。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	公共用水域の水質汚濁防止を図るため
対象 (何又は誰を)	市民（浄化槽管理者）に対して
手段 (どのようなやり方で)	浄化槽の設置及び維持管理に係る補助金の交付や啓発・指導を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	浄化槽の普及及び適正な維持管理の促進を図る。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		8,807	7,788	5,418	7,736	7,736	
人件費 B		12,691	12,717	12,234	12,172	12,172	
事業費合計 A+B		21,498	20,505	17,652	19,908	19,908	
事業費 の財源 内 訳	国	2,045	2,045	1,299	1,658	1,658	浄化槽設置費補助金
	県	3,125	2,776	1,644	2,418	2,418	浄化槽設置費補助金・交付金
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	105	315	41	105	280	浄化槽保守点検業登録申請手数料
	一般財源	16,223	15,369	14,668	15,727	15,552	
職員数(人)		2.25	2.25	1.60	1.58	1.58	
職員数 の内訳	正 規	1.30	1.30	1.40	1.40	1.40	
	嘱 託	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	臨 時	0.75	0.75	0.00	0.18	0.18	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	設置費補助件数	件	目標	18	18	14	14	14
		実績		17	14	7	-	-	
市内で浄化槽設置整備事業の補助金交付を受けた件数									
2				目標					
				実績					
成果指標	1	汲取り・単独処理浄化槽人口	人	目標	8,581	8,301	8,286	7,870	7,570
		実績		9,185	8,724	8,392	-	-	
(汲取り・単独処理浄化槽人口)									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	下水道の整備は進んでいるが、下水道の区域外はもとより、計画区域内においても整備困難地域は残ることから、今後も浄化槽の整備は必要である。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成11年度から葛川地区における浄化槽の面的整備事業の実施や、平成15年度からの浄化槽維持管理事業を実施するなど、浄化槽の普及促進・維持管理に努めてきた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市が、公共用水域の水質保全の観点から、浄化槽補助対象地域に対して補助金の交付により、普及促進・維持管理普及啓発を行うことは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	浄化槽の普及促進及び適正な維持管理につながっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	浄化槽の整備促進が図られ、効果的な維持管理につながっている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	浄化槽設置の普及促進及び維持管理が適正に行われることにより、琵琶湖の水質保全に寄与している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他
部局長コメント	引き続き、浄化槽の普及促進及び適正な維持管理に努め、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止に努めて行く。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	93.42 %	95.15 %	98.73 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+5.01 %	+3.80 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,264 千円	1,464 千円	2,521 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-0.42 %	+10.50 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	289	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	02622 美化清掃事業（廃棄物減量推進課）	所 属 長
		記 入 者

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例 一般廃棄物処理基本計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	02625	美化清掃収集車管理事業（廃棄物減量推進課）	1703	廃棄物減量推進課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	美化清掃事業費	

事業の概要  
自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬等を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
対象 (何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
手段 (どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		14,804	12,490	12,915	12,741	12,741	
人件費 B		27,030	24,895	24,099	23,342	23,342	
事業費合計 A+B		41,834	37,385	37,014	36,083	36,083	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1,010	940	738	1,141	1,141	
	一般財源	40,824	36,445	36,276	34,942	34,942	
職員数(人)		4.10	4.10	4.00	3.91	3.91	
職員数 の内訳	正規	4.10	3.40	3.30	3.30	3.30	
	嘱託	0.00	0.70	0.70	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.61	0.61	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	活動指標	美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	目標	200	200	200	200	0
				実績	146	211	202	-	-
2	活動指標	美化活動に伴うごみ、苦情、廃乾電池等の直営収集量	体	目標	1,200	1,200	1,200	1,200	0
				実績	1,262	1,078	1,070	-	-
1	成果指標	動物死体の収集数	%	目標	100	100	100	100	0
				実績	100	100	100	-	-
2	成果指標	飼犬、飼猫等のペット、野良犬、野良猫等の動物死体の収集数		目標					
				実績					
1	成果指標	収集応需率		目標					
				実績					
2	成果指標	市民からのごみ等収集需要に対する応需率		目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	自治会等による美化活動の積極的な実施や道路上の動物死体の迅速な通報など、市民の環境保全に対する意識が高まっている。	
これまでの見直しや改善等の経過	家庭ごみの定期収集、大型ごみの戸別収集、動物死体の収集等の委託化の一方で、地域の美化活動や苦情ごみなどにきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物処理法が市町村による一般廃棄物の処理責務を定めていることを踏まえ、市民生活への影響が大きく、緊急度の高い収集業務に対応している。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	速やかな収集対応により、地域の環境保全に貢献している。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	定期収集や大型ごみ収集等の作業効率のよい業務は民間委託へ移行する一方、不定期な収集などきめ細やかな市民サービスが求められる部分の対応については直営とし、迅速に対応している。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	環境保全及び市民サービスの観点から、本事業の持つ意義は大きい。
---------	--	---------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他                      ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (                              ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	生活環境の美化や公衆衛生の保全のため、創意工夫しながら事業に取り組んできたところであるが、市民からの要望に臨機応変に収集対応できるよう、引き続き作業上の安全を確保しながら、事業を推進する。
部長コメント	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、今後とも、きめ細やかで速やかな収集対応により、市民サービスの充実に努め、事業のより円滑な推進を図っていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	286 千円	177 千円	183 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	418 千円	373 千円	370 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-10.63 %	-0.99 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	290	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01175 じん芥焼却場管理事業	所 属 長
		記 入 者
		山田 和彦
		清水 一義

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、ダイオキシン類対策特別措置法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他	関連する個別計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 一般廃棄物処理実施計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	じん芥焼却場管理事業費	

事業の概要  
 大津市琵琶湖疏水以南地域から発生する燃やせるごみを、適正かつ円滑に処理を行うための適切な施設管理を行う。なお、令和2年度より環境美化センターリサイクル施設の稼働に伴い、大津市琵琶湖疏水以南地域から発生する燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化を図るための適正な施設管理を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみを適正かつ円滑に処理するため
対象 (何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみを
手段 (どのようなやり方で)	焼却炉の適正負荷によるごみ処理で、排ガス等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	安定した運転操業を実施し、環境汚染物質の低減を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		472,857	486,989	473,695	652,475	458,880	
人件費 B		31,110	39,650	40,934	33,358	24,900	
事業費合計 A+B		503,967	526,639	514,629	685,833	483,780	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	241,805	220,269	217,128	243,730	243,623	
	一般財源	262,162	306,370	297,501	442,103	240,157	
職員数(人)		6.70	6.90	6.80	5.61	3.00	
職員数の内訳	正規	3.20	4.90	4.60	3.85	3.00	
	嘱託	2.00	1.00	2.20	0.00	0.00	
	臨時	1.50	1.00	0.00	1.76	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	ごみ焼却量	トン	目標	44,014	44,014	44,325	44,325	42,077	
				実績	49,323	46,816	44,034	-	-	
		計画年間処理量								
成果指標	1	排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	87.5	-	-	
			排ガス1㎡N中のダイオキシン類(単位10億分の1g)量、基準値=5ng/㎡N※目標値1ng							
	2	固化飛灰のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
		セメント固化した固化飛灰1g中のダイオキシン類の量、基準値=3ng/g(直接適用なし)								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理事業は市民生活と直結しているため、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	施設の建替え工事が進捗する中、令和2年度末まで使用する現施設の安定稼働のために、年次計画で整備工事を施工している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律は、一般廃棄物の処理が市町村の責務であることを規定している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	排ガス等規制基準を遵守しつつ、目標処理量を達成している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	施設の運転管理は、十分な技術と経験を有する業者に委託し、日常の維持管理及び整備計画は、市と委託業者で緊密に連携しながら実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	円滑なごみ処理を継続することで、ごみの適正処理に貢献している。
---------	--	---------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>既存焼却施設を令和2年度末まで安定した稼働を続けるとともに、令和2年度より環境美化センターリサイクル施設、令和3年度より環境美化センター新焼却施設の稼働をDBO方式で選定した民間事業者により大津市ごみ処理施設管理運営業務を実施していく。</p> <p>現施設の適切な整備補修により安定稼働に努め、ごみ受入量を他施設と十分調整することでごみの適正処理を継続するとともに、来年度の新焼却施設の稼働に向け、関係課等と密接に調整を行ってスムーズな移行を図る。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	87.50 %
	指標2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	-12.50 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	10 千円	11 千円	11 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	5,039 千円	5,266 千円	5,881 千円
	指標2	5,039 千円	5,266 千円	5,146 千円
コスト増減率		- %	+4.49 %	+4.69 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	291		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター
事務事業名	01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業	所 属 長	山田 和彦
		記 入 者	林 豊治

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、水質汚濁防止法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市環境基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	01167	地区環境整備事業（南部・第二南部不燃物処分地）		1707	施設整備課
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理費	
事業の概要	南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理にあたってきた。両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の基準は満たし一定安定しているが、南部処分地の発生ガスは一部安定していないため、安定するまでの間両浸出水処理施設の適切な運転管理をはじめ、処分地の適正な管理を継続する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	不燃物処分地を適正に維持管理するため
対象 (何又は誰を)	浸出水、処理水、地下水及び発生ガスについて
手段 (どのようなやり方で)	適正な浸出水処理施設の維持管理及び発生ガス安定化促進を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	浸出水質、発生ガスの安定化を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		21,897	20,762	13,775	15,427	15,427	
人件費 B		11,319	10,820	9,705	11,041	12,120	
事業費合計 A+B		33,216	31,582	23,480	26,468	27,547	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	33,216	31,582	23,480	26,468	27,547	
職員数(人)		2.20	2.70	2.50	2.37	2.50	
職員数の内訳	正規	1.05	0.70	0.50	0.72	0.85	
	嘱託	0.65	1.50	1.50	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.50	0.50	1.65	1.65	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	水質検査回数	回	目標	4	4	4	4	4
				実績	4	4	4	-	-
	浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数								
	2	発生ガス検査回数	回	目標	3	3	3	3	3
実績				4	3	3	-	-	
発生ガスの量、質の年間測定回数									
成果指標	1	水質基準値遵守率 (COD・南部)	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
	処理水中のCOD基準値=20mg/l								
	2	水質基準値遵守率 (COD・第二南部)	%	目標	100	100	100	100	100
実績				100	100	100	-	-	
処理水中のCOD基準値=20mg/l									



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	292				
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター	所 属 長	山田 和彦
事務事業名	01177	大田廃棄物最終処分場管理事業	記 入 者	林 豊治	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、水質汚濁防止法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市環境基本計画、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大田廃棄物最終処分場管理費	
事業の概要	環境美化センターからの焼却灰や大津クリーンセンターからの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分するため
対象 (何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
手段 (どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		62,905	55,782	51,996	58,115	70,165	
人件費 B		11,604	11,640	10,751	12,441	13,105	
事業費合計 A+B		74,509	67,422	62,747	70,556	83,270	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	144	240	195	158	158	
	一般財源	74,365	67,182	62,552	70,398	83,112	
職員数(人)		2.55	2.80	2.50	2.40	2.48	
職員数の内訳	正規	0.90	0.80	0.70	0.97	1.05	
	嘱託	1.15	1.50	1.30	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.50	0.50	1.43	1.43	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	水質検査回数	回	目標	12	12	12	12	12
				実績	12	12	12	-	-
浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数									
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	水質基準値遵守率(COD)	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
処理水中のCOD基準値=20mg/l									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	地域住民の本施設への関心は非常に高く、搬入物や浸出水、処理水の水質など地元との協定を遵守するとともに、その結果を地元で報告している。		
これまでの見直しや改善等の経過	第2期処分場に併せて新設した第2期浸出水処理施設を平成27年7月より優先的に稼働、使用して、老朽化している第1期処理施設の延命化を図った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の適正処理は、市町村の責務である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	環境美化センターから排出される燃却灰はじめ、持ち込まれる燃やせないごみなどを計画的に埋立処分し、その埋立地から発生した汚水を浸出水処理施設で処理し、水質基準値を満たしている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	浸出水処理施設の維持管理については、運転管理上の技術やノウハウを有している専門業者に委託している。効率的に安定処理の向上が図れている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	適正な管理運営と安定した浸出水処理により、一般廃棄物最終処分場としての操業が図られ、ごみの適正処理に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	
	第1期埋立処分地の埋立が終了後、埋立地の最終の覆土及び成形成等を施工するとともに第2期埋立処分地についても引き続き、維持管理基準に基づき埋立処分を行う。 浸出水について汚水処理施設の適正な運転管理に努める。	
部局長コメント	引き続き、適正な埋立処分を継続するとともに、老朽化した浸出水処理施設の弾力的な運用により、安定した汚水処理を図る。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	6,209 千円	5,618 千円	5,228 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	745 千円	674 千円	627 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-9.51 %	-6.93 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	293	
部 局 名	環境部	所 属 名 環境美化センター
事務事業名	02214 大津クリーンセンター管理運営事業	所 属 長 山田 和彦 記 入 者 清水 一義

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、容り法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津クリーンセンター施設整備事業
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大津クリーンセンター管理運営事業費	
事業の概要	大津市琵琶湖疏水以南で発生する燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化を図るための適正な施設管理を行う。なお、令和2年度より本業務は環境美化センターリサイクル施設にて実施する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	大津クリーンセンターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実施するため
対象 (何又は誰を)	家庭からでる燃やせないごみ、大型ごみ、かん、びん、ペットボトル及び事業系大型ごみを
手段 (どのようなやり方で)	破砕施設及び再資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業及び資源回収を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	166,024	164,806	159,237	1,036	0	平成31(令和元)年度操業終了
	人件費 B	23,830	28,810	26,759	498	0	
	事業費合計 A+B	189,854	193,616	185,996	1,534	0	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	3,442	3,544	3,927	0	0	
	一般財源	186,412	190,072	182,069	1,534	0	
職員数(人)		5.70	5.90	5.65	0.06	0.00	
職員数の内訳	正規	1.70	2.90	2.45	0.06	0.00	
	嘱託	4.00	3.00	3.20	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	資源ごみの搬入量	トン	目標	1,483	1,432	1,432	0	0
		実績		1,432	1,397	1,353	-	-	
成果指標	1	資源ごみの処理率	%	目標	100	100	100	0	0
		実績		100	100	100	-	-	
2		資源ごみの処理量÷資源ごみの搬入量		目標					
		実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の環境に対する意識向上並びにごみ減量・リサイクル意識の向上		
これまでの見直しや改善等の経過	当該施設は、平成23年12月1日に大津市の一般廃棄物処理施設として大津市に帰属され、市のごみ処理施設として適正に運転管理委託を続けている。平成26年3月31日をもって焼却施設は終了した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市町村が行うべき事業であり妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	計画どおり適性に安定してごみ処理及び再資源化を図っている。また、規制基準についても法基準値はもとより、協定値についても全て遵守している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	施設が稼働開始してから30年以上が経過しており、大半の設備機器が老朽化しているなか、経験豊富で技術力を有する民間の専門業者に維持管理を委託することにより、大きなトラブルが発生することなく、効率よく安定した操業ができています。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	ごみを適正に処理するとともに、資源化物については搬入物を資源化し、資源の有効活用の推進に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他      ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 終了 ( 平成31年度 ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	令和元年度末をもって操業終了した大津クリーンセンターに変わり、令和2年度より環境美化センターリサイクル施設で業務を実施する。また、大津クリーンセンターの解体撤去に伴う業務を計画的に進めていく。
部局長コメント	令和元年度末をもって操業終了したことから、今後は既存施設の解体撤去等を計画的に実施する。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	132 千円	138 千円
	指標2	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1,898 千円	1,936 千円
	指標2	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+1.98 %	-3.93 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	294		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター
事務事業名	02217 中町淀町最終処分場管理運営事業	所 属 長	山田和彦
		記 入 者	清水一義

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、ダイオキシン類特措法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市環境基本計画、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	中町淀町最終処分場管理運営事業費	

**事業の概要**  
 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の環境美化に努める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
対象 (何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
手段 (どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		56,716	55,509	50,444	58,503	59,981	
人件費 B		8,390	7,510	9,113	2,595	5,085	
事業費合計 A+B		65,106	63,019	59,557	61,098	65,066	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	65,106	63,019	59,557	61,098	65,066	
職員数(人)		1.10	1.00	1.35	0.59	0.89	
職員数の内訳	正規	1.10	1.00	0.95	0.15	0.45	
	嘱託	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.44	0.44	
		0.00	0.00	0.00	0.44	0.44	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	水質検査回数	回	目標	12	12	12	12	12	
				実績	12	12	12	-	-	
浸出原水及び処理水のCOD、窒素その他の年間測定回数										
活動指標	2			目標						
				実績						
成果指標	1	COD、窒素等の水質基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	処理水質中のCODの基準値20mg/リットル 窒素の基準値10mg/リットル									
	2	排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
処理水のダイオキシン類の量、基準値10pg/リットル										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	中町埋立処分場は平成10年度末、淀町最終処分場は平成25年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。		
これまでの見直しや改善等の経過	中町埋立処分場については、埋立終了後、年月が経過しており、処理施設に流入する原水の水質が改善され良好な状態となっていることから、平成28年度より簡易処理に移行している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市が行うべき事業である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	汚水処理施設の適正な運転管理を行っているため、放流水(処理水)は常に排水基準値を満足している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域の環境保全に万全を期し、維持管理業務を委託することにより効率的に管理・運営に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	廃棄物最終処分場は、焼却灰や燃やせないごみ等を適正に最終処分することを目的に建設され、埋立処分は終了しているが、汚水処理施設については適正に管理することで環境負荷の低減を図ることができ、事業の貢献度は高い。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	中町汚水処理施設については浸出水の水質が改善していることから簡易処理に移行し、引き続き、適正な運転管理に努めるとともに廃止に向けた協議を地元と進めていく。淀町最終処分場は、平成25年度末をもって埋立終了したが、引き続き浸出水について汚水処理施設の適正な運転管理に努めるとともに跡地利用計画について事業を進めていく。
部局長コメント	中町及び淀町汚水処理施設の適正な運転管理に努めるとともに、中町汚水処理施設については水質も改善していることから、廃止に向けた検討協議を進める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	5,425 千円	5,251 千円	4,963 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	651 千円	630 千円	595 千円
	指標2	651 千円	630 千円	595 千円
コスト増減率		- %	-3.20 %	-5.49 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	295				
部 局 名	環境部	所 属 名	北部クリーンセンター	所 属 長	新野 道郎
事務事業名	01180 北部クリーンセンター管理運営事業	記 入 者	清水 拓也		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	01179	クリーンセンター施設整備事業	1708	北部クリーンセンター

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	クリーンセンター管理運営事業費	

事業の概要  
琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、かん、びん、ペットボトル及び大型ごみ、大津市全域で発生するプラスチック製容器包装の円滑な処理及び資源化を図るための適正な施設管理を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑に処理及び資源化するため
対象 (何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみを
手段 (どのようなやり方で)	①焼却施設、粗大ごみ処理施設、プラスチック容器資源化施設の適正な運転によるごみ処理で、②排ガス等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	①安定した運転・操業を実施すること及び資源化できるものは適正に実施②環境汚染物質の低減を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		673,854	672,828	674,776	663,667	663,667	
人件費 B		53,976	49,701	51,045	49,510	49,510	
事業費合計 A+B		727,830	722,529	725,821	713,177	713,177	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	216,629	226,050	240,829	202,605	201,601	
	一般財源	511,201	496,479	484,992	510,572	511,576	
職員数(人)		10.10	9.93	9.60	9.10	9.10	
職員数の内訳	正規	6.10	5.10	5.10	5.10	5.10	
	嘱託	4.00	3.00	4.50	0.00	0.00	
	臨時	0.00	1.83	0.00	4.00	4.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	ごみ焼却量	トン	目標	41,370	41,370	41,370	41,370	41,370
				実績	39,113	39,755	41,700	-	-
	154 t / 日 × 365 日 × 0.736 = 41,370 t								
2	資源ごみの搬入量	トン	目標	2,862	2,862	2,862	2,862	2,862	2,862
			実績	2,739	2,778	2,828	-	-	
かん、びん、ペットボトル及びプラスチック容器の搬入量									
成果指標	1	排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
	排ガス 1 m <sup>3</sup> N 中に含れる D X N 類の量 (1 ng は 10 億分の 1)、基準値 = 1 ng / m <sup>3</sup> N 以下								
2	資源ごみの処理率	%	目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	-	-	
資源ごみの処理量 ÷ 資源ごみの搬入量									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高くごみ減量、分別、リサイクルに対する市民意識の向上に伴い適正処理の取組みがなされている。ごみ処理施設の稼働についても一層の安全稼働が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成26年度から平成27年度にかけて焼却施設を大規模改修し、安定した焼却処理及びこれに伴い発生する排ガスを確実に協定値以下にすることができている。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物を適正に処理することは、市町村の責務であると規定されているので、当該事業は妥当性がある。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	計画通りごみ処理ができ、排ガス等の規制基準はすべて遵守し、成果は上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	各施設の運転については、技術力を有する民間の専門業者に委託しており、市職員と委託業者が絶えず密接に連携をとり、安定操業と環境保全の意識を持ちながら事業実施している。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	焼却施設・粗大ごみ処理施設・プラスチック容器資源化施設の安定的な稼働の中で、ごみの適正な処理と資源化を図り、持続可能な社会づくりに取組んでいる。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続
部局長コメント	令和4年度からの新しい運営方式による新施設稼働は確定しており、現施設のごみ処理方式等を踏襲しつつ見直すべきものは刷新して事業継続はしていく。新施設稼働まで、現施設へのごみの搬出入に影響が出ないよう安定した処理を継続していくこととする。	
	適正な保守点検等を実施し、より安全かつ安定した施設操業とごみ処理施設の適正な管理運営を維持していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %
	指標2	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	18 千円	17 千円
	指標2	265 千円	256 千円
成果単位コスト	指標1	7,278 千円	7,225 千円
	指標2	7,278 千円	7,225 千円
コスト増減率	- %	-0.72 %	+0.45 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	296				
部 局 名	環境部	所 属 名	北部クリーンセンター	所 属 長	新野 道郎
事務事業名	01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業	記 入 者	川村 与志治		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	03333	一般廃棄物最終処分場施設整備事業		1708	北部クリーンセンター
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	一般廃棄物最終処分場管理運営事業費	
事業の概要	北部クリーンセンターから排出される焼却灰、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
対象 (何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
手段 (どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、 ②水質等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、 ②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

## < 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	55,627	50,421	43,030	45,090	45,090	
人件費 B	23,398	23,606	25,314	23,179	23,179	
事業費合計 A+B	79,025	74,027	68,344	68,269	68,269	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	387	166	231	208	208
	一般財源	78,638	73,861	68,113	68,061	68,061
職員数(人)	4.33	4.33	4.83	4.33	4.33	
職員数の内訳	正規	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33
	嘱託	2.00	2.00	2.50	0.00	0.00
	臨時	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	m <sup>3</sup>	目標	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
			実績	4,930	5,056	5,462	-	-
	2 水質検査実施回数	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12	-	-
成果指標	1 水質検査実施率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	-	-
	2 排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	-	-
処理水1 <sub>2</sub> 中のダイオキシン類の量 (pgは1兆分の1g)、基準値=10pg/ℓ以下								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	平成26年度から「ごみ減量施策」の実施によりごみ量が減少してきたが、災害ごみ等により年度ごとの搬入量に差異がある。	
これまでの見直しや改善等の経過	令和元年からの土堰堤築造工事について、高さを変更（2.5m→1.25m）し、ごみの埋立枠を増加させ、延命できるよう見直し、少ない経費で最大限の効力を発揮できるよう改善した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物を適正に処理することは、市町村の責務であると規定されている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	北部クリーンセンターから排出される焼却灰や不燃物、及び処分場に個別搬入される燃やせないごみを計画的に最終処分している。また、処分場からの浸出水の処理についても排出基準をすべて満足しており、成果は上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域の環境保全に万全を喫しながら、効率的な管理運営に努めている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市内から発生するごみの最終処分として、計画的に埋立処分を行っており、ごみの適正処理に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	最終処分場の埋立て残容量の的確な把握と老朽化した汚水処理施設の適正管理を踏まえて管理運営を維持していく。
部局長コメント	施設の適正稼働を維持するため、直接埋立量の削減やごみの減量化の各種検討及び汚水処理施設の適正管理を踏まえて廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	16 千円	14 千円	12 千円
	指標2	6,585 千円	6,168 千円	5,695 千円
成果単位コスト	指標1	790 千円	740 千円	683 千円
	指標2	790 千円	740 千円	683 千円
コスト増減率		- %	-6.32 %	-7.67 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	297	
部 局 名	環境部	所 属 名 衛生プラント
事務事業名	01024 衛生処理場運転管理事業	所 属 長 佐藤良一 記 入 者 平野晋也

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市生活排水対策推進計画、大津市し尿処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	衛生処理場運転管理事業費	

事業の概要  
市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
対象 (何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
手段 (どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われる衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持を確保する。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		267,915	265,363	265,629	265,992	286,278	
人件費 B		19,647	23,540	23,720	25,353	25,353	
事業費合計 A+B		287,562	288,903	289,349	291,345	311,631	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	287,562	288,903	289,349	291,345	311,631	
職員数(人)		4.50	4.40	4.40	4.17	4.17	
職員数の内訳	正規	1.60	2.40	2.40	2.40	2.40	
	嘱託	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	2.00	2.00	2.00	1.77	1.77	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	
活動指標	1	し尿・浄化槽汚泥搬入量(1日当り)	k l / 日	目標	39.3	36.2	32.5	30.6	29.7	
				実績	37.7	34.6	33.6	-	-	
	志賀、北部及び南部衛生プラントのし尿・浄化槽汚泥搬入量									
	2	汚泥焼却灰処分量	t / 年	目標	35	15	15	15	15	
実績				19	6	6	-	-		
汚泥焼却灰の処分量										
成果指標	1	放流水の水質(BOD) (管理目標値以下の達成度)	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	生物化学的酸素要求量 10mg / l 以下に処理									
	2	放流水の水質(T-N) (管理目標値以下の達成度)	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
総窒素量 10mg / l 以下に処理										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	下水道の普及に伴い尿等の搬入量が減少し、浄化槽汚泥の比率が増加など、プラント建設当初の現状と大きく異なっていることから、適正規模に見合った処理施設再編を進める必要がある。	
これまでの見直しや改善等の経過	環境部所管の庁外施設と連携し、電気料金の削減に努めた。また、南部衛生プラントでは、搬入量の減少に対処するために処理工程の改善と排出される脱水汚泥の市外搬出処理を実施した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律は、し尿等の一般廃棄物の処理が市町村の責務であることを規定している。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	処理水の良好な水質を維持し、公共用水域へ放流することができた。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	適切な管理運営に努め、必要な点検修繕等を実施することで、プラントの性能を維持し、環境負荷（良好な水質、大気、悪臭等）の低減に寄与した。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民生活はもとより、周辺の環境に対しても支障なく操業することができ、し尿等の適正処理の推進に貢献できた。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他      ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(                      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	適切な維持管理に努め、環境負荷の低減と公衆衛生の確保を図る。また、施設再編整備について、2施設体制に向け計画的な改修工事等の準備を進めるとともに、南部衛生プラントの操業停止を見据えた課題の検討、対応を進める。
部局長コメント	引き続き、市民生活に支障が生じないように安全かつ安定した管理運営に努め、施設再編に万全の準備を進める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標 1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標 2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標 1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標 2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標 1	7,627 千円	8,349 千円	8,611 千円
	指標 2	15,134 千円	48,150 千円	48,224 千円
成果単位コスト	指標 1	2,875 千円	2,889 千円	2,893 千円
	指標 2	2,875 千円	2,889 千円	2,893 千円
コスト増減率		- %	+0.46 %	+0.15 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	298		
部 局 名	環境部	所 属 名	不法投棄対策課
事務事業名	01173 廃棄物不適正処理対策事業	所 属 長	水野 伸也
		記 入 者	高谷 俊司

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 大津市放置自動車条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	03	土砂等の埋立て規制の強化		
重要	01	不法投棄防止の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	廃棄物不適正処理対策事業費	

**事業の概要**  
職員及び不法投棄等監視員（地域住民に委嘱）による平日の監視パトロール、民間へ委託している閉庁日（土曜日等）のパトロールにより、不法投棄の未然防止及び早期発見を図るとともに、不法投棄行為者等に対し不法投棄物の除去等の是正指導を行い、原状回復に努める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	廃棄物の不法投棄の早期発見・早期処理を行うため
対象 (何又は誰を)	不法投棄廃棄物（放置自動車を含む）を対象に
手段 (どのようなやり方で)	職員や不法投棄等監視員、民間業者によるパトロールによる発見及び不法投棄行為者等に対する不法投棄物（放置自動車を含む）の除去等の指導を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全が図られる。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		9,630	9,249	7,362	7,514	7,514	
人件費 B		40,490	47,786	50,596	51,916	51,916	
事業費合計 A+B		50,120	57,035	57,958	59,430	59,430	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		48,270	55,185	56,108	57,580	57,580	
職員数(人)		7.85	8.73	8.90	9.10	9.10	
職員数の内訳	正規	3.85	4.73	5.10	5.78	5.78	
	嘱託	4.00	4.00	3.80	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	3.32	3.32	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	現場確認箇所数	箇所	目標	15	15	15	15	0	
				実績	21	21	22	-	-	
監視取締り対象現場への確認箇所（1出動当り延べ確認現場数）										
活動指標	2			目標						
				実績						
成果指標	1	苦情件数に対する解決率	%	目標	80	80	80	80	0	
			実績	99	92	95	-	-		
	廃棄物の不法投棄等に関する苦情を解決した率									
	2	産業廃棄物事案の解決率	%	目標	20	20	20	20	0	
		実績	0	0	0	-	-			





# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	299	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	02230 不法投棄事案対策事業	所 属 長
		記 入 者
		水野 伸也
		高谷 俊司

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	03	土砂等の埋立て規制の強化		
重事	01	不法投棄防止の推進	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	不法投棄事案対策事業費	

**事業の概要**  
 中核市移行に伴い滋賀県より引き継いだ廃棄物不適正処理事案について、廃棄物の適正な処理を行うために行為者等の追及や指導を行い、原状回復を図っている。原状回復が直ちに困難であると見込まれるような場合は周辺環境に影響がないか調査を行う。また、廃棄物に起因して生活環境保全上の支障が生じる場合には、直ちに支障除去に努める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	不適正処理廃棄物の適正な処理を推進するために
対象 (何又は誰を)	不適正処理された廃棄物を
手段 (どのようなやり方で)	行為者等に対する不法投棄物の除去等を指導や投棄物による周辺環境への影響の調査により
成果 (どのような状態にするのか)	滋賀県より引継いだ不適正処理事案を中心とした廃棄物の不法投棄事案件数を削減する

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	2,139	2,051	999	750	750	
人件費	B	10,660	9,840	15,247	15,757	15,757	
事業費合計 A+B		12,799	11,891	16,246	16,507	16,507	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	1,000	1,000	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	4	22	164	24	24	
	一般財源	11,795	10,869	16,082	16,483	16,483	
職員数(人)		1.30	1.20	1.90	2.10	2.10	
職員数の内訳	正規	1.30	1.20	1.80	2.00	2.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	
活動指標	1	現場確認箇所数	箇所	目標	15	15	15	15	0	
				実績	21	21	22	-	-	
	監視取締り対象現場への確認箇所（1出動当り延べ確認現場数）									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	苦情件数に対する解決率	%	目標	80	80	80	80	0	
				実績	0	0	0	-	-	
	平成28年度より当事業の成果指標とせず、廃棄物不適正処理対策事業のみの成果指標とする									
	2	産業廃棄物不適正処理事案の解決率	%	目標	20	20	20	20	0	
実績				21	20	20	-	-		
産業廃棄物不適正処理事案を解決した率										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	行為者等の特定が困難な産業廃棄物不法投棄事案については、是正を進めていくことが求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	行為者等の特定が困難な産業廃棄物不法投棄事案については、周辺環境への影響を調査（水質、土壌）するとともに、現地に変化が無いかパトロールを実施している。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく不法投棄事案対策は天津市の責務であり、是正指導や命令を行為者等に行い、不適正処理された廃棄物の是正及び周辺環境の監視等を行っている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	産業廃棄物不適正事案について目標を上回る解決を行った。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	事案の重要度に応じて調査対象を決め、周辺環境の調査を効率的に行っている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	不適正処理廃棄物の是正指導等により、長期にわたる不適正保管事案等の一部は解決しており、便乗投棄などの不法投棄防止に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>引き続き行為者等への指導を行い、不適正処理事案の解決に努めるとともに、さらなる不法投棄事案が発生しないよう監視を行う。なお、行為者等の特定が困難な不法投棄事案については周辺環境への影響調査を行い、影響がないと判断される事案については継続的な監視対象から除外する。</p> <p>産業廃棄物不適正処理事案の解決に向けて、継続的に事業を推進していく。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標 1	- %	- %
	指標 2	105.00 %	100.00 %
成果増減率	指標 1	- %	%
	指標 2	- %	-4.76 %
活動単位コスト	指標 1	- 千円	- 千円
	指標 2	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標 1	- 千円	- 千円
	指標 2	609 千円	594 千円
コスト増減率	- %	-2.44 %	+36.62 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	300		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01164 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	所 属 長	川本 孝是
		記 入 者	上松 一智

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	

**事業の概要**  
 北部クリーンセンターの運営並びに建替えを円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	伊香立地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		47,386	33,013	30,205	33,579	62,541	
人件費 B		32,731	31,748	33,691	33,322	33,322	
事業費合計 A+B		80,117	64,761	63,896	66,901	95,863	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	80,117	64,761	63,896	66,901	95,863	
職員数(人)		4.03	3.91	4.09	4.04	4.04	
職員数の内訳	正規	3.98	3.86	4.05	4.00	4.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	38	40	39	40	40
				実績	63	39	45	-	-
	年間支出事業補助件数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
				実績	1.53	0.93	1.11	-	-
	1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	153.00 %	93.00 %	111.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-39.21 %	+19.35 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,271 千円	1,660 千円	1,419 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	52,364 千円	69,635 千円	57,563 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+32.98 %	-17.33 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	301		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01165 地区環境整備事業費（環境美化センター）	所 属 長	川本 孝是
		記 入 者	島村 一哉

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（環境美化センター）	

事業の概要  
環境美化センターの運営並びに改築を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	富士見地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		15,029	17,832	25,622	21,935	26,120	
人件費 B		6,081	7,312	7,048	8,588	8,588	
事業費合計 A+B		21,110	25,144	32,670	30,523	34,708	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	21,110	25,144	32,670	30,523	34,708	
職員数(人)		0.78	0.93	0.88	1.06	1.06	
職員数の内訳	正規	0.73	0.88	0.84	1.02	1.02	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
				目標	実績					
活動指標	1	事業補助数	件	目標		6	4	3	4	3
				実績		4	4	2	-	-
		年間支出事業補助件数								
成果指標	1	事業効率化指数	-	目標		1	1	1	1	1
				実績		1.19	1.05	0.7	-	-
			1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる							
	2		目標							
実績										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	119.00 %	105.00 %	70.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-11.76 %	-33.33 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	5,277 千円	6,286 千円	16,335 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	17,739 千円	23,946 千円	46,671 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+34.99 %	+94.89 %	



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	302		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01166 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	所 属 長	川本 孝是
		記 入 者	上松 一智

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他		関連する 個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	

事業の概要  
北部廃棄物最終処分場の設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	龍華地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		12,849	15,497	13,013	11,964	15,600	
人件費 B		3,785	3,540	3,645	3,608	3,608	
事業費合計 A+B		16,634	19,037	16,658	15,572	19,208	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	51	0	0	1	1	
	一般財源	16,583	19,037	16,658	15,571	19,207	
職員数(人)		0.50	0.47	0.47	0.46	0.46	
職員数 の内訳	正規	0.45	0.42	0.43	0.42	0.42	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	5	5	2	2	2
				実績	1	1	2	-	-
	年間支出事業補助件数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
				実績	0.36	0.58	1.01	-	-
	1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方について見直しを行い、透明性や公平性を高め、適正な事業実施に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	36.00 %	58.00 %	101.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+61.11 %	+74.13 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	16,634 千円	19,037 千円	8,329 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	46,205 千円	32,822 千円	16,493 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-28.96 %	-49.75 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	303	
部 局 名	環境部	所 属 名 施設整備課
事務事業名	01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）	所 属 長 川本 孝是 記 入 者 島村 一哉

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	

事業の概要  
大田廃棄物最終処分場の設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	大石地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		20,536	18,095	13,952	35,730	14,895	
人件費 B		10,673	12,068	11,779	19,876	19,876	
事業費合計 A+B		31,209	30,163	25,731	55,606	34,771	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	19,700	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	31,209	30,163	25,731	35,906	34,771	
職員数(人)		1.34	1.51	1.45	2.42	2.42	
職員数の内訳	正規	1.29	1.46	1.41	2.38	2.38	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	25	25	16	25	15
				実績	24	23	19	-	-
年間支出事業補助件数									
2				目標					
				実績					
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
				実績	1.05	1.16	1.34	-	-
1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	105.00 %	116.00 %	134.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+10.47 %	+15.51 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,300 千円	1,311 千円	1,354 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	29,722 千円	26,002 千円	19,202 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-12.51 %	-26.15 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	304		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01170 地区環境整備事業（衛生プラント）	所 属 長	川本 孝是
		記 入 者	島村 一哉

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
				関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（衛生プラント）	

**事業の概要**  
 衛生プラント（南部）の設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	し尿処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	田上地区・上田上地区（堂・白百合）の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、し尿処理施設の円滑な運営に繋げる。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		10,163	5,895	7,319	2,070	19,330	
人件費 B		6,573	7,312	7,048	8,588	8,588	
事業費合計 A+B		16,736	13,207	14,367	10,658	27,918	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	16,736	13,207	14,367	10,658	27,918	
職員数(人)		0.84	0.93	0.88	1.06	1.06	
職員数の内訳	正規	0.79	0.88	0.84	1.02	1.02	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	12	10	8	10	10
				実績	20	11	8	-	-
		年間支出事業補助件数							
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
				実績	1.63	1.09	0.74	-	-
		1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる							
成果指標	2			目標					
				実績					





# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	305		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	02229 地区環境整備事業（大津クリーンセンター）	所 属 長	川本 孝是
		記 入 者	島村 一哉

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（大津クリーンセンター）	

事業の概要  
大津クリーンセンターの設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	大石地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		20,297	15,767	16,113	0	7,917	
人件費 B		6,983	8,460	8,293	0	2,944	
事業費合計 A+B		27,280	24,227	24,406	0	10,861	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	27,280	24,227	24,406	0	10,861	
職 員 数 (人)		0.89	1.07	1.03	0.00	0.38	
職員数 の内訳	正 規	0.84	1.02	0.99	0.00	0.34	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.05	0.05	0.04	0.00	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	52	41	45	2	1
				実績	58	61	64	-	-
		年間支出事業補助件数							
2				目標					
				実績					
成果指標	1	事業効率化指数	-	目標	1	1	1	1	1
				実績	1.2	1.5	1.43	-	-
		1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる							
2				目標					
				実績					



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	306	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01148 環境交流館管理運営事業	所 属 長
		記 入 者
		川本 孝是
		上松 一智

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市伊香立環境交流館条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	99	その他		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	環境交流館管理運営事業費	

事業の概要  
 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。なお、平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
対象 (何又は誰を)	市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果 (どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

## < 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	2,458	2,624	2,151	2,480	2,559	
人件費 B	8,296	8,184	8,145	7,762	7,762	
事業費合計 A+B	10,754	10,808	10,296	10,242	10,321	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	5	2	81	1	1
	一般財源	10,749	10,806	10,215	10,241	10,320
職員数(人)	2.58	2.56	2.55	2.29	2.29	
職員数の内訳	正規	0.18	0.16	0.15	0.14	0.14
	嘱託	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
	臨時	0.40	0.40	0.40	2.15	2.15

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1 開設日数	日	目標	298	298	297	296	296
			実績	305	298	297	-	-
	伊香立環境交流館の開設日数							
2			目標					
			実績					
成果指標	1 利用者数	人	目標	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
			実績	12,007	11,368	12,974	-	-
	伊香立環境交流館の年間利用者数							
2			目標					
			実績					

